

令和7年度学校経営計画（概要）

1 目指す学校

Well-Being 溢れる学校 ～みんなの「たい」を大切に～

- 子供の Well-Being 進んでやること、一緒に活動することに幸せを感じられる子供
- 教師の Well-Being 子供のよさを伸ばすことに幸せを感じられる教師
- 保護者・地域の Well-Being 連携することに幸せを感じられる学校

《学校の教育目標》

小柳小学校は、人権尊重の理念に基づき学校・家庭・地域社会の連携の中で、課題に主体的に向き合い自らの考えを形成し、友達と協働して課題を解決する力を育み、Well-Being 溢れる学校を目指し、次の教育目標と育成を目指す資質・能力を掲げ、学校教育を推進します。

かしこく…課題に気付き、すすんで学習に取り組む子

やさしい…自分も相手も大切にし、共につながることができる子

元気な子…心身の変化に気付き、粘り強く頑張り、自分を高める子

2 中期的目標

- (1) かしこい子の育成
- (2) やさしい子の育成
- (3) 元気な子の育成
- (4) 地域・保護者との連携の推進

3 今年度の取り組み目標

学習面でも生活面でも子供が見通しをもったり振り返ったりすることを重視し、「～たい」を大切にしながら学びや活動を選択し、主体的に取り組めるように教育活動を進めます。

(1) かしこい子の育成のために

- 校内研究予算を有効に活用し、主体的に発見、対話、決定、表現する子供を育成するための研究を進めます。
- デジタル教科書の有効な活用を中心に、子供が学びを選択できるようにします。
- 教師の出と委ねる場面を意識して指導します。

(2) やさしい子の育成のために

- 協働する取り組みを重視し、共に取り組む心地よさを実感できるようにします。
- 子供の話を傾聴し、子供の変化に対して素早く丁寧に対応します。
- 子供のよさを価値付けし、自己肯定感、自己有用感を高めます。

(3) 元気な子の育成のために

- 体育学習や自由遊びの時間において、多様な動きを経験させます。
- レガシー教育の予算を有効に活用し、市内外のトップチームの選手を招聘し、運動に対する関心を高めます。
- 体育の学習では、できるようになったこと、まだできないこと、次にやってみたいこと、心の変化などを振り返り、学びを自己調整できるようにします。

(4) 地域・保護者との信頼関係の構築

- 子供の学びや育ちについて情報を共有し、共通理解・共通実践をします。
- 地域や保護者の声に真摯に耳を傾けて、素早く丁寧に対応します。